

# ジャパングラブ NEWS LETTER

Japan Club : 1759 Sutter Street #203, San Francisco, CA 94115 • Tel: 415-931-9424 • www.jc-sf.org • jc-sf@sbcglobal.net

## 10月度理事会議事録

### 講演会の新企画について検討

## 「自然災害に備えて、阪神淡路大震災から学ぶ」 被災地神戸での経験を語る...二人の講師を招いて

今月の理事会は10月1日(水) 6時30分から開かれました、残念ながら今月は都合のつかなかった理事が多く、出席したのは5名の理事だけでした、11月は開催日が変わりますのでご注意の上、多くの理事の参加をお願いします。なお今月の討議内容は下記の通りです。

### 会計及び催事報告と予定について

- 先のピクニックの内容が、写真とともに日米新聞(9月13日版カラーのページ)に取り上げられた事。
- 先月号のニュースレターに初めてカラーページ(片面のみ)を掲載した事。
- 会計処理上、補助のサイナー(会のチェックにサインできる資格のある人)に柏原さんが従来の沖山会計理事に加え登録された。
- 沖山会計理事(日本に帰国中で欠席)から新年度最初(7、8、9月)の会計報告書が出された。

以上が報告されました、さらに新しい講演企画として

- 11月1日に来桑される神戸の「震災復興支援グループ」による講演会とワークショップについて、福光副会長から説明がありました。

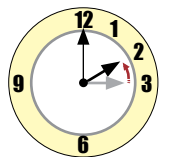
11月3日は在サンフランシスコ日本国総領事館主催で領事館に於いて開かれる「海安協」(海外安全対策連絡協議会)の席で講演。(領事館主催)に引き続き11月4日はジャパングラブ及び北加日米会の共催により、ジャパセンタ・ユニオンバンク社交室で午後6時より、「自然災害に備えて、阪神淡路大震災から学ぶ」の演題で講演会とワークショップを開催する、後援は在サンフランシスコ日本国総領事館。

- 講演の内容についてはさらに詳しく日本側に問い合わせ中。
- この為に、参加者の募集を(特に当日がアメリカ大統領選投票日と重なり、参加人数が少ないのではないかと心配される為)広く日系の他のグループにも働きかける。
- 基本的には来桑される3名(その後変更があり2名となる)の講師の費用は全て日本の海外協力事業団から賄われます、しかしジャパングラブ側としても準備、案内用フライヤーなど多少の経費が必要になると思われますので、\$100を上限として会が負担できるようにする(出席全理事が承認)。北加日米会にも同様金額の負担をお願いする。
- 同講演会の後、希望者のみで(費用は参加者の自己負担)一同の歓迎夕食会(詳細、場所は未定)を開く。

等が話し合われ、承認されました、私どもの会の目的でもある「災害時の相互扶助」を進める上で大きな災害から立ち直った神戸の、実際に経験した人の話を聞く事は必ず何か学ぶものがあるでしょう、大勢の参加を呼びかけてください。

**次回理事会は、上記講演会のスケジュールの関係で  
11月12日(水)に一週間繰り下げて開かれます、  
お間違えの無いように。**

今年から長くなったサマータイムもいよいよ  
11月2日(日)から冬時間に戻ります、  
11月1日(土)のおやすみ前に時計の  
針を1時間戻す事をお忘れなく。



## 海外から、あなたの一票で日本の国政に参加

注目のアメリカ大統領選挙は11月4日全米で一斉に行なわれますが、日本でも衆議院の解散・総選挙が近く行なわれるのではないかと大きな関心事となっています。

海外に永住し日本国籍を持ち、在外選挙人権を持つ人は日本のニュースや総領事館からの広報に注意して必ず選挙に参加するところをお忘れなく。

サンフランシスコ日本国総領事館での在外選挙日は、日本国内の投票日より早く実施されますが投票日については、総領事館から公表されます。投票にあたっては既にお持ちの「在外選挙人証」

とパスポートを持参の上、指定された投票所に出向いて投票する事になっています。

今回投票するのは衆議院議員全国比例区の立候補者(政党名のみ)と投票者の本籍地域からの小選挙区候補者名の双方です、立候補者名は選挙投票会場に公示されております。

尚、現在「在外選挙人証」を持っていない人は、今回の選挙に間に合わないかもしれませんが総領事館の窓口で早急に申請しておかれる事をお勧めします。

## 講演とワークショップの開催のお知らせ

## 「自然災害に備えて、阪神淡路大震災から学ぶ」

＜時＞11月4日(火)午後6時から ＜場所＞ジャパンセンター・ユニオンバンク社交室

・共催：ジャパクラブ及び北加日米会 ・後援：在サンフランシスコ日本国総領事館

サンフランシスコの地震(Loma Prieta earthquake 1989年10月17日)から一年あまり後に発生した阪神淡路大地震は多くの犠牲者を出しました、自然災害の中で予測の難しい地震、私達の住むベイエリアも近い将来大きな地震の発生する確率が高いと云われる地域です。

阪神淡路大震災に学ぶ点は沢山あるものと思われ、今回その神戸の「復興支援コンサート実行委員会」からお二人の講師が来桑されそれぞれの立場から得た体験の中から、地震の恐ろしさ、対応策、被災者の心理状況、そして復興に立ち上がった様子などが語られる予定です。その後引き続きワークショップと質疑応答があり、ワークショップでは講演内容の具体的なおさらいが出来るのではないかと思います。また質疑応答では、日頃心配している事、疑問に思っている事等に先の経験からお答えいただけるものと思います。

## 入場無料で一般にも公開されます

今回の講演会は在サンフランシスコ日本国総領事館の主催で開かれる「海外安全対策連絡協議会」での講演の後、その翌日に設定されています。残念ながら日本からの講師の滞在時間が限られているため平日の夜となってしまいました、地味な取り組みですが地震の起こる可能性の高い地域に住んでいる私達にとって非常に大事な事です、どうぞ会員、家族、お友達にも薦めて誘いあつてご参加ください。

尚、ジャパクラブ緊急連絡網の地域責任者の方は、担当する地域の会員の方々に参加を呼びかけてください。

ジャパクラブの設立の端緒となったこの地震の体験者の話を聞き、この機会に日頃の心構えをもう一度確かめて、予測できない自然災害への対処を考えましょう。

## 講師の紹介

## 辻 信一氏

1949年神戸生(復興支援コンサート実行委員会事業部長)  
神戸まちづくり研究所理事  
環境緑地設計研究所取締役  
ランドランドスケープ復興支援会議  
神戸復興塾設立  
神戸復興記念事業『花のプログラム』実施

## 高橋 哲氏

1951年大阪生(復興支援コンサート実行委員会委員)  
芦屋生活心理学研究所所長  
兵庫県臨床心理士会理事  
阪神淡路大震災の日本臨床心理士会現地本部長として『こころのケア』にあたる  
兵庫県からスリランカやスマトラにインド洋津波支援チームのコーディネーターとして派遣  
文部科学省『教育相談協力者会議』委員  
中国四川大地震への支援活動に派遣され重慶西南大学、北京中国心理学院他で復興支援し、各大学の客員教授など就任  
2008年内閣総理大臣賞受賞

## 関連記事

## 1・17 メモリアルコンサート

竹下景子 詩の朗読と音楽の夕べ

## 公募要項 (復興支援コンサート実行委員会)

1995年1月17日。阪神淡路大震災は多くの生命を奪い、街を大きく傷つけました。14年を経てなお、わたしたちのところに消すことのできない影を落としています。その後も、日本各地や中国四川省をはじめ、世界中で大規模地震や巨大風水害の災禍に襲われるたび、記憶の深い淵に立たされる想いです。

わたしたちは多くのことを震災から学びました。安心や安全の大切さはもちろんですが、悲しみへの共感と人々の絆、助け合い。愛することや平和の意味。あらゆる分野で求められる変革に、決して忘れてはならないこと。新たな時代への、ささやかでもこころを込めた確かな一歩。

震災だけではなく、皆さんの実際の体験から、次世代に受け継ぐ文化としての希望に満ちた【夢】を、生きる勇気として詩に託してください。その感動をメッセージとして神戸から発信し、地球上のすべての人々を笑顔でつなげていきませんか。

多くのご応募をお待ちしています。優秀作品は、メモリアルコンサートにおいて、林晶彦さんによるオリジナルのピアノ曲とともに、女優の竹下景子さんが朗読いたします。

1) 応募先 〒650-0003 神戸市中央区山本通2-4-24

ギャラリー島田 復興支援コンサート係

Tel 078-262-8058

詩の公募ホームページ

<http://sky.geocities.jp/roudoku117>

2) 応募内容 『夢・希望・勇気』をテーマにした詩

3) 応募規定 400字詰原稿用紙4枚以内

表紙に住所、氏名、年齢、職業、電話番号

4) 応募資格 問いません(未発表の作品)

5) 賞 最優秀/佳作 (詩にオリジナル曲を作曲)

6) 締め切り 11月8日(土) 国外分は11日まで

10月17日は1989年にLoma Prieta地震が発生した日です、改めて災害に備える心構えをしましょう